

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 EDC-E
用途: 土壌・地下水汚染浄化剤
会社 エコサイクル株式会社
住所: 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2丁目28番1号
担当部門: 環境修復事業部
電話番号:03-6661-1875/FAX番号:03-6661-1876
緊急連絡先: 同上 ※月～金曜日、9:00～18:00

作成日 2012年5月18日

改訂日 2017年6月12日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性:	区分外
健康に対する有害性:	特になし
経口:	分類対象外
吸入:	分類対象外
皮膚・眼腐食性:	分類対象外
皮膚感作性	分類対象外
呼吸器感作性	分類対象外
生殖細胞変異原性:	区分外
発がん性:	区分外
生殖毒性:	区分外
標的臓器/全身毒性単回暴露:	区分外
標的臓器/全身毒性反復暴露:	区分外
環境影響:	生分解性が高い材料を原料として使用している
急性水生毒性:	区分外
慢性水生毒性:	区分外
特定の危険有害性:	認められていない

GHSラベル要素

絵文字またはシンボル 危険有害性なし

3. 組成、成分情報

含有成分	CAS.No.	官報公示整理番号 (化審法)	含有量(%)
食品材料	社外秘	社外秘	社外秘
食品添加物	社外秘	社外秘	社外秘
水	7732-18-5	該当無し	社外秘

4. 応急措置

皮膚に付いた場合:	・特に刺激を感じることはないが、過敏な人が刺激を感じる場合は、 付着物を布等で拭き取り、肌を石鹼水或いは水で十分にすすぐ。
眼に入った場合:	・眼に刺激を感じる場合は、最低15分間、清浄な水で緩やかに眼の 洗浄を行う。何か症状があれば、医師による診断を受ける。
飲み込んだ場合:	・少量の場合は、水で口の中を洗うだけでよい。大量に飲み込んで 何か症状があれば、医師による診断を受ける。
吸入した場合:	・過量に吸入すると鼻、のど、気管等の呼吸器粘膜に刺激が現れる ことがある。何か症状があれば、医師による診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤:	二酸化炭素、粉末消火器、泡沫消火器、乾燥砂
使ってはならない消火剤:	特になし
火災時の特定危険有害性:	火災時には、二酸化炭素が発生する。
特定の消火方法:	特になし。消火剤等の一般的な消火方法による。大規模火災 には泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。
消火を行う者の保護:	耐熱性着衣などを着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項:	特になし
環境に対する注意事項:	特になし
除去方法:	紙、乾燥砂、土、おがくず、布等に漏洩した液を吸収させて回収 する。それらは焼却による処理が可能である。残りのものは多量 の水、中性洗剤で洗い、廃水は適切に処理する。
二次災害の防止策:	特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	開封後は速やかに使用することが必要
局所排気・全体換気:	特になし

- 安全取扱注意事項: すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。
 使用時に飛沫が眼、口などに入らないように慎重に取り扱い、必要に応じてマスク、眼鏡を着用する。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱後はよく手を洗う。
- 接触回避: 湿気、水、高温体との接触を避ける。
- 保管
- 技術的対策: 保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。
- 保管条件: 直射日光、氷点下の寒冷、暑熱を避ける。
 屋内にて密栓して冷暗所に保管する。
 混色危険物質、食料、飼料から離して保管する。
 開封後は速やかに全量使用する。
- 混色危険物質: 強酸化剤(硝酸、硫酸など)
- 容器包装材料: 化学的反応性は低いため、ガラス、金属、多くのプラスチックなど多くの包装材料を使用できる。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度:

物質名	労働安全衛生法 管理濃度	日本産業衛生学会 (2016年度版)	ACGIH-TWA (2016年度版)
食品材料	設定されていない	10mg/m ³ (ミスト)	設定されていない
食品添加物	設定されていない	設定されていない	設定されていない
水	設定されていない	設定されていない	設定されていない

設備対策: 人体への危険性がないため、それを目的とした設備対策は特に必要ない。

保護具:	呼吸器用の保護具	必要に応じて空気呼吸器を着用する。
	手の保護具	必要に応じて保護手袋を着用する
	眼の保護具	必要に応じて保護眼鏡/顔面保護具等を着用する。
	皮膚及び身体の保護具	必要に応じて長袖作業服等を着用する。
	その他	記述すべき事項はない

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状:	液体
	色:	白色
	臭い:	わずかに原料臭

pH: 6~7

希釈から時間が経過すると、生分解によりpHがさらに低下する。

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

引火点: >280℃

発火点: 知見なし

沸点: >100℃

爆発特性: 爆発限界 下限 知見なし 上限 知見なし

蒸気圧: 知見なし

密度: 0.94-0.96 kg/L

溶解性: 水によく分散する。

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常の取り扱い条件において安定。
 危険有害反応可能性: 強力な酸化剤と激しく反応する場合がある。
 避けるべき条件: 強力な酸、酸化剤との混触を避ける。
 混色危険物質: 強酸化剤(硝酸、硫酸など)
 危険有害な分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素
 その他: 記述すべき事項はなし

11. 有害性情報(成分に関するデータを記載)

	急性毒性	亜急性及び慢性毒性	変異原性	発がん性	催奇形性
食品材料	通常の食用に適するものである。			なし (IARC 、 NTP 、 EPA 、 ACGIH、EU)	なし
食品添加物	通常の食用に適するものである。			なし (IARC 、 NTP 、 EPA 、 ACGIH、EU)	なし

12. 環境影響情報

生体毒性: 有害性は低い。
 残留性/分解性: 良分解性である。
 生物蓄積性: 蓄積性は低い。
 土壌中の移動度: 本品の物理化学的性質から、移動しうると推定される。
 水生環境急性有害性: 区分外
 水生環境慢性有害性: 区分外

オゾン層への有害性: 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意:

内容物・残余廃棄物:原則として廃棄物業者による処理。「取扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、水質汚濁防止法及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律の産業廃棄物であり、これらの関係法令に定められた事項による。処理等を外部の業者に委託する場合には、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表(マニフェスト)を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。また、開封溶解後の場合は、下水道法等の関係法令を遵守して処理を行う。

容器・包装:空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国内規制(適用法令)

陸上規制:	特段の規制なし(非危険物)
海上規制:	特段の規制なし(非危険物)
航空規制:	特段の規制なし(非危険物)
国連番号:	非該当
国連分類:	非該当
品名:	非該当
海洋汚染物質:	非該当
特別の安全対策:	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法:	該当せず
毒物及び劇物取締法:	該当せず
消防法:	該当せず
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法):	該当せず
船舶安全法:	該当せず
航空法:	該当せず

16. その他の情報

主な引用文献:

- ① 2016 TLVs and BEIs Based on the Documentation of the Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents, ACGIH (2016)

問合せ先: 本社 環境修復事業部 03-6661-1875

この「製品安全データシート」は、現時点までに得られた情報に基づき作成されました。製品の安全な取り扱いを行うための一般的な参考情報として提供するものです。記載事項は通常の取り扱いを対象としておりますので、取り扱い各位におかれましては、上記内容を参考に各位の実情に応じて安全かつ適切にお取り扱いいただきますようお願いいたします。
